

V 他誌投稿・学会等発表抄録

他誌投稿抄録

青森県十二湖青池と隣接湖沼の水質比較

花石竜治, 菩提寺誉子¹: 全国環境研会誌, **49**, 216-220(2024)

青森県十二湖青池の青色呈色機構について解明するため、北側にある青色呈色しない鶏頭場ノ池（けとばのいけ）との水質を比較することとし、2023年4月から10月にかけて毎月調査を行った。その結果、硝酸イオンなどを除く主要無機イオンの組成比は、地点差および季節変動がほとんどなかったが、比較した鶏頭場ノ池では、pHおよび溶存酸素飽和率が高く、植物プランクトンによる光合成が活発であることが示唆された。両者の水質の比較から、青池では水質への植物プランクトンの影響は小さいと考えられ、このことが青色呈色の一因であると結論づけた。

1 青森県環境政策課

十和田湖調査の紹介

白銀ゆい: 令和6年度職員研究発表会「あすをひらく」, 2025.3.7 (青森市)

青森県が国立環境研究所や秋田県と協力して魚種間の関係、透明度低下及び漁業不振の原因や汚濁負荷源等に関し行ってきた調査・研究について紹介した。

弘前市における有害大気汚染物質等モニタリング調査結果について

内海宣俊: 令和6年度職員研究発表会「あすをひらく」, 2025.3.7 (青森市)

平成29年4月から開始した弘前市立第一中学校局での有害大気汚染物質等モニタリング調査結果に関し、平成29年度から令和4年度までに収集した測定データの集計及び解析結果の概要を報告した。

学会等発表抄録

ベイズ統計手法によるCMB法を用いた大気中微小粒子状物質(PM_{2.5})の発生源解析の検討

花石竜治, 前田寿哉, 内海宣俊, 貝森優希¹: 大気環境学会北海道・東北支部第31回総会・研究発表会, 2024.11.11 (札幌市)

(要旨省略: 第40回全国環境研究所交流シンポジウム, 2025.2.19-20 (茨城県つくば市))

大気環境汚染における発生源解析の一法であるケミカルマスバランス(CMB)法の計算方法として提案された柏木のベイズ統計手法の変法を検討した。この変法の妥当性を検討した上で、大気中微小粒子状物質(PM_{2.5})の測定値のうち、測定誤差が既知な誘導結合プラズマ質量分析法による金属元素濃度に適用した。その結果、季節で異なる発生源寄与および未知発生源の組成についての情報が得られた。本法は限られた化学種についてCMB法の組成モデルにより解析を行うものであり、解析対象としない化学種の寄与についても、過大評価あるいは過小評価せずに、推定できた。

1 青森県資源循環推進課

青森県青森環境管理事務所

環境調査研究課年報 第1号

(令和7年度)
令和8年2月発行

編集 青森県青森環境管理事務所 環境調査研究課

発行 青森県青森環境管理事務所
〒038-0031 青森市大字三内字丸山 198-4
青森県運転免許センター2F

メールアドレス ao-kankyo-kenkyu@pref.aomori.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/ao-kankyo/EnvResearch.html>
